

5 月、学びの基盤づくりをしよう！！

例年にない大型連休が明け、子どもたちはいかがでしょうか。

学級の雰囲気や先生方に少しずつ慣れてきて、授業も軌道に乗り始めたとい安心したのもつかの間、この 10 連休でせっかく習慣として身についたことがくずれてしまったと感じたり、間近に迫った運動会の練習で多忙感やあせりを抱いたりしている先生もいらっしゃるかと思います。

子どもたちの中には、家族で思う存分楽しむことができた子がいる一方で、もしかすると自分で昼食を準備し、一人で一日を過ごした子もいたのではないかと考えてしまいます。様々な過ごし方をした子どもたちの様子をしっかりと観察し、一人ひとりに寄り添いながら、学校生活が楽しいと感じられるような言葉かけに努めることが大切です。表情や言動がこれまでの様子と違っていたら注意して見守り、必要な支援を講じていかなければいけません。

子どもたち一人ひとりに学びを保障するための基盤づくりをしていきましょう。5 月は『一人ひとりに心の居場所のある、安心して学べる学級づくり』を進めていくことが学級経営のポイントになります。「居場所がある」というのは自分がクラスの友達から受け入れてもらえているという安心感に裏付けされた感覚です。

ある英語圏で赤ちゃんに最初に教える言葉は次の 3 つだそうです。

- ① thank you  
「ありがとう」(感謝の心)
- ② please  
「どうぞ」(思いやりの心)
- ③ you are welcome  
「どういたしまして」  
(謙虚な心)

◇感謝の気持ちを抱くことは自分自身の幸せをも引き出してくれるものです。

◇思いやりの心は相手のためだけでなく、自分自身のためでもあるのです。その「思いやり」はいずれ自分に返ってくるものです。

◇人生で成功する人、立場を存続できる人は謙虚な人だと言われています。また、本当の成功者は、頭のいい人というより謙虚な人が多いそうです。

温かな人間関係作りに努めよう

○人間関係づくりを意図的に進めましょう。

- ・ Q-U 心理検査結果の活用
- ・ アサーション
- ・ ソーシャルスキルトレーニング

○子ども一人ひとりが互いの良さを知り、認め合う時間を作りましょう。

(構成的グループエンカウンター)

○教師の笑顔は、子どもたちの心を明るくします。「トラブルは成長のチャンス」「困った子」は「困っている子」へと見方を変えて。

授業の充実に努めよう

○基本的なルールを守れるように繰り返し丁寧に支援していきましょう。

(話の聞き方、話の仕方、机上の準備、学習の進め方、ノートのとり方など)

○認め合える関係を育てましょう。

(授業の中で、ペアや 4 人グループであるいは全体で学び合う場を意図的に設け、子ども同士が関わり合い、認め合い、高め合う喜びを味わわせていきます。)

○子どもたちの実態把握と教材研究をつなげましょう。

## 「学び続ける教師に」

### ～新採用教員・新任常勤講師研修会～



新しい時代「令和」がスタートし、子どもたちは、「今年度こそは〇〇を頑張ろう」「これからは〇〇に力を入れてみよう」「今までの生活を〇〇のようにしていこう」等、新たな夢や希望を胸に抱いて学校生活を送っていることと思います。この希望で満ち溢れている子どもたちの前に立ち、精いっぱい頑張っている新採用教員や新任常勤講師の研修会が4月18日に行われました。

#### 【教育長のあいさつから】

##### ○教育は人なり

- ・教師として、人として～主体性をもって。
- ・謙虚に。同僚の先生方から基礎を学ぶ。

##### ○子どもたちとの出会いを大切に

- ・子どもたちの目線に立って物事をとらえる。
- ・先生に寄って来る子と寄ってこない子、これない子。そのうち、特に寄ってこれない子への配慮を忘れずに。

#### 【管理主事講話から】

##### ○信頼される教師に！

- ・子どもたちからも保護者からも地域からも同僚からも。
- ・信頼を得ることは難しいが失うのは簡単。

##### ○責任ある行動を！

- ・全体の奉仕者であること。一部の奉仕者ではいけない。一人残らずクラス全員に。
- ・行動に責任を持つ。公の人間であること。



先輩教員体験発表では、坂口 圭先生（仁井田小）から、自分の経験をもとに「困ったこと」「うれしかったこと」「学級経営で大切なこと」など多方面にわたっての話があり、さらに「休日にはりフレッシュしましょう。」と励ましの言葉をかけていただきました。分科会は、自分の今の困り感や悩み事を出し合い、共感し合ったり、アドバイスを聞いたりして有意義な研修となりました。

## 教育研修センターの積極的な活用を！

日々、「子どもたちのために」「子どもを真ん中」においた教育に奮闘している先生方のお役に立ちたいと考え、今年度も教育研修センターでは、教科教育や特別支援教育、セミナー研修などの開催を予定しています。「もっと子どものためにより授業がしたい」と願っている経験年数の浅い先生方を対象にした「ジャンプアップ研修」はすでにスタートし、一人ひとりの先生方のニーズに応じた研修が進められています。

事業内容は次の通りです。積極的な参加をよろしくお願いいたします。

- 1 教科等研修・・・教科等の指導力向上を目的とした研修
- 2 各種セミナー研修・・・教職員のニーズに沿って、理解を深めることを目的とした研修
- 3 教員ジャンプアップ研修

「もっと子どもたちのためにより授業がしたい」と思っている先生方への助言や支援

- 4 学校の要請に応じた支援・・・校内研修等の指導助言・相談

3, 4については、随時、電話等で受け付けています。申し込みください。

<須賀川市教育研修センターTEL (0248) 72-7185・FAX (0248) 72-7186>